

# 2022年度 JICA 地球ひろば「多文化共生の文化」共創プログラム 募集要項

## 1. 背景

国際協力機構(JICA)は日本の政府開発援助(ODA)を一元的に行う実施機関であり、約 150 の国・地域で国際協力を展開しています。日本国内においては、これら国際協力を通じて得た知見を生かし、「持続可能な社会の創り手」の育成を目指す新学習指導要領などの学校教育の動向を踏まえ、「教師海外研修」「エッセイコンテスト」「施設訪問」「出前講座」「開発教育メールマガジン」「開発教育教材作成」など、学校、教員及び児童生徒を対象に国際理解教育/開発教育を支援する様々な事業を行っています。

近年、日本で暮らす外国人は増加の一途をたどっており、外国につながる児童生徒も年々増加しています。本研修は、多文化共生の場や学びがより強くとめられている現状をふまえ、児童生徒を取り巻く学校を中心とした社会で、どのようにして多文化共生を進め実現していけばよいのか、参加者同士の対話を通じて考え、共創していくプログラムです。

## 2. プログラムの目的

開発教育に関する授業実践や外国につながる児童生徒を受け持つ様々なことに取組んだ経験を持つ教員が、研修から学び、児童生徒やクラス・学校における変化・変容等の経験を共有し、参加者同士の対話を通じて学びを深めます。

また、参加者自身が所属校での既存の取組や環境、人脈等を把握し、参加者同士のネットワークを構築し、さらに外部との連携の方法を見つけることを目指しています。

また、学校における「多文化共生の文化」を育むためのヒントや取組みの事例を全体として取りまとめ、共有するための冊子を作成します。

## 3. プログラムのテーマ

「多文化共生の文化」をつくるために、私たちにできることは何か？

## 4. スケジュール

第1回研修 2022年11月19日(土)-20日(日) 会場:JICA 市ヶ谷ビル内会議室

第2回研修 2022年12月10日(土) 会場:JICA 麹町ビル内会議室

	日程	プログラム・内容
第1回 1日目	2022年11月19日(土) 10:00-17:30	・プログラム趣旨・全体の流れ説明 ・アイスブレイク ・ダイアログ: 【テーマ】自分と多文化共生 ・フィールドワーク (多文化共生の取組みをしている東京近郊の学校もしくは地域への訪問を予定)

<p><b>第1回 2日目</b></p>	<p>2022年11月20日(日) 10:00-16:30</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公開セミナー(講演): 【テーマ】未来に続く「多文化共生」を実現する文化づくり(仮)</li> <li>・ダイアログ&amp;ワークショップ: 【テーマ】公開セミナー(講演)の感想&amp;学びの共有 / 学校の「多文化共生の文化」とは?</li> <li>・ワークショップ: 【テーマ】学校における「多文化共生の文化」をつくるために何ができるか?</li> <li>・チームごとのダイアログ: 【テーマ】自身の勤務する学校で「多文化共生の文化」をつくるために、どんなことができるか?</li> <li>・全体共有</li> </ul>
<p><b>第2回</b></p>	<p>2022年12月10日(土) 10:00-16:30</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アイスブレイク</li> <li>・本日のプログラム概要説明</li> <li>・チームごとのダイアログ: 【テーマ】「学校に多文化共生の文化を創るとは?」「そのためにどのような取組みができるのか?」</li> <li>・発表・フィードバック・質疑応答</li> <li>・成果品についての説明</li> <li>・プログラム総括</li> </ul>
	<p>2023年1月上旬</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プログラム成果品(冊子)作成用原稿提出</li> <li>・各自これまで取組んできた活動事例や今後取組みたい事例および「多文化共生の文化」を創るアイデアをまとめる</li> </ul>

※プログラム内容により、終了時刻が変更になる可能性があります。

※新型コロナウイルス感染状況に伴い、対面研修をオンライン研修に変更する場合があります。

※プログラム詳細は、参加者決定後、運営事務局から別途ご連絡します。

## 5. 実施体制

主催:独立行政法人国際協力機構(JICA)広報部地球ひろば推進課(JICA 地球ひろば)

運営事務局:一般社団法人グローバル教育推進プロジェクト(GiFT)

※研修の円滑な実施運営のため、JICA が委託する外部機関で構成する運営事務局を設置し、同事務局を通じ、研修参加者に対する連絡・調整を行います。

## 6. 募集人数

約20名(予定)

## 7. 応募要件

開発教育に関する授業実践や多文化共生に関する取組み等を行っている全国の教員及び学校管理職

※応募者多数の場合、地域、校種、応募理由書の記載内容を参考に、全体のバランスを考慮し、参加者を決定します。

## 8. 応募方法

- (1) 以下の応募特設サイトにアクセスし、①必要事項を記入、②応募理由書を添付、③実践・取組事例を添付のうえ、ご応募ください。

応募特設サイト URL:<https://j-gift.org/2022jica-tabunkakyosei-appform/>

- (2) 志望動機書(必須)

志望動機書として、①本研修への応募理由、②学校における多文化共生の取り組みに関して、ご自身が感じている課題や問題について、それぞれ 500～800 字程度で記載してください。文書は Word 等で作成の上、ファイルを応募サイトに添付してください

- (3) 実践・取組事例(任意)

これまでに自身が行ったり関わったりした多文化共生に関する授業や取組がありましたら、それらの内容がわかる資料を、応募サイトに添付してください(書式自由)

- (4) 応募締切

~~2022 年 10 月 17 日(月)24:00~~

**2022 年 10 月 24 日(月) 24:00 まで延期になりました**

## 9. 参加決定について

10 月下旬までに JICA 地球ひろば・教員向け研修運営事務局より応募者全員にご連絡します。

## 10. 参加費用

以下の経費について、当機構の旅費規定に基づき、JICA が負担します。

- ① 本研修参加のための国内移動(自宅～研修場所)にかかる旅費(経済路線)
- ② 宿泊費は 8,200 円/泊を上限として JICA が負担します。(超過分は自己負担)

※その他、研修に参加される際の食費、個人的費用については参加者本人の負担となります。

## 11. その他

- ・本プログラムを通じて作成する冊子は、全参加者に共有いたします。また、広く他の教員にも参照・活用されるよう、配布するほか、JICA 地球ひろば HP、メールマガジン、その他各種広報誌等を通じて紹介する場合がありますので、ご協力をお願いいたします。
- ・ JICA の開発教育/国際理解教育事業のさらなる充実、改善に生かすため、後日アンケートへの協力をお願いすることがあります。
- ・ 個人情報に関するお願い

JICA では、学校教育を支援する取組として、雑誌・書籍への寄稿・取材、教材制作へのアドバイス等に参加者の協力を依頼しています。また、JICA 開発教育メールマガジンへの登録をお願いしています。

応募時に入手した個人情報は本プログラム以外に、利用の可否を確認のうえで、上記の目的のために利用させていただく場合があります。

いただいた個人情報は、JICA の内部規程(個人情報保護に関する実施細則)に基づき、適切に管理いたします。<https://www.jica.go.jp/joureikun/act/frame/frame110000019.htm>

以上

<問い合わせ先>

一般社団法人グローバル教育推進プロジェクト(GiFT)

(JICA 地球ひろば・教員向け研修運営事務局)

住所: 〒141-0021 東京都品川区上大崎 2-15-19 MG 目黒駅前ビル 2 階

TEL:03-4577-6767 E-mail:[jica-edu@j-gift.org](mailto:jica-edu@j-gift.org)